

## ✧ 海外ニュース ✧

イギリス 2021年5月3日 World Highways

### ■ ハイウェイズ・イングランドと Keir がエアバッグ型警告装置を試験中

Highways England and Keir trial warning airbag

ハイウェイズ・イングランドは、接近するドライバーに減速するよう警告するための、路上作業区域に向けたエアバッグ型警告装置の試験をしている。空気を注入し約10分間で設置可能である。路上規制材と標識といった従来の交通管理手法に加えて、ドライバーの行動に影響を与えることで車両の侵入を防ぐ。試験費用は約95,700ポンドとのこと。

フランス 2021年5月10日 LeFigaro

### ■ エファージュ、ドイツのレバークーゼンの新しい橋の建設にかかわるコンソーシアム方式の契約を獲得

Eiffage remporte en groupement la réalisation d' un nouveau pont à Leverkusen en Allemagne

エファージュは、エファージュ・メタルと子会社のSEH（ドイツ）およびIemants（ベルギー）を通じて、ホッホティーフおよびマックス・ベーグル社とのコンソーシアム方式による取引契約を獲得した。ドイツのレバークーゼンでライン川に架かる新しい橋を建設するもので、交通量の増加に対応しきれなくなった既存の構造物の容量を倍増させるものである。この橋梁は、アウトバーン1号線に設置される2×3車線であり、将来的にレバークーゼンとトリーアを繋ぐものとなる。契約総額は1億8000万ユーロである。

スペイン 2021年5月10日 El Economista オンライン版

### ■ 市街地で速度が引き下げられる理由は？ DGT はこう説明する

¿Por qué se reduce la velocidad en ciudades desde este 11 de mayo? Así lo razona la DGT

交通総局（DGT）がスペインの道路に定めたここ数年で最も重要な変更の1つが5月11日発効する。ほとんどの都市道路で、制限速度を時速50kmから30kmに引き下げること、DGTは「2050年の交通事故による死亡者ゼロ」という大きな目標に向けて、さらなる対策を講じようとしているのだ。そのため、DGTは数カ月をかけて、国内すべての大都市のモビリティを変えてしまう政策を行う理由について説明してきた。

ドイツ 2021年5月12日 ドイツ連邦道路交通研究所（BASt）

### ■ エネルギーを提供する高速道路

Autobahnen liefern Energie

現在BAStは、連邦交通省に代わってAutobahn GmbHとともに、アウトバーン81号線の休憩施設に太陽光発電を取り付けた屋根を設置した場合の有用性を調査している。2021年秋に建設開始予定で、完成後における設備の運転は約1年間科学的な検証が行われる。

屋根の広さは10×17m、高さ5m超で、太陽光発電に加え、車道を天候から保護する性能も試験される。また電気自動車充電ステーション向けに電気を供給することも可能で、照明やその他の電動設備の電源にもなるため、駐車場の安全性と快適性にも寄与する。

カナダ 2021年5月12日 Daily Commercial News

### ■ 革新の内側：ドローンの使用が2021年に急増する見込み

Inside Innovation : Drone usage set to take off in 2021

DroneDeploy社は、ドローンプログラムに組み込まれたレーザーによる点群データ取得機能について、2021年

に25%以上の増加を予測している。

コスト削減や効率改善を目的としてドローンの採用が増えているが、新型コロナウイルスの蔓延により、さらに利用拡大を後押しした。DroneDeployは、2020年末までに企業によるドローンの飛行が前年比で259%増加したと報告した。

アメリカ 2021年5月13日 The Commercial Appeal

■ I-40号線の橋の定期検査により潜在的な「壊滅的な出来事」が回避されたと当局が説明。橋の再開日程は不明。

Potential 'catastrophic event' avoided by routine I-40 bridge inspection, officials say. Reopening timeline unclear

I-40号線のミシシッピ川を跨ぐエルナンド・デ・ソト『M』橋に「重大な亀裂」が発見された。5月11日に検査官が無期限の閉鎖を発表した。

イギリス (イタリア) 2021年5月13日 World Highways

■ イタリア南部の新しい高速道路

Italy's new southern highway route

現在、南イタリアで重要な高速道路が建設されている。この新しい道路は、E90号線として欧州横断運輸ネットワーク (TEN-T) の一部を形成するイオニア高速道路の最後の区間である。

このプロジェクトはイタリア国営の道路機関であるANASから委託され、2026年に完成する予定である。

アメリカ (ノルウェー) 2021年5月14日 Engineering News-Record

■ 3Dを最優先に考えたノルウェーのモデル橋梁

Putting 3D First, a Model Bridge Rises in Norway

ノルウェー公営道路局がSweco, PNC, Armando Rito Engenharia, Isachsenに、長さ643mのコンクリート箱桁橋を全面的に3Dで設計・建築するよう依頼した。

全面的に3次元で設計することで現場の作業者は、屋外用拡張現実 (AR) 装置『Trimble SiteVision』を用いて、現場で3Dモデルを実際の規模で配置し「見る」ことができる。

イギリス (スウェーデン) 2021年5月20日 World Highways

■ スウェーデン電化道路開発企業Elonroad、運輸業Bringと電化道路開発を各地で展開

Almi Invest Greentech invests in Elonroad

Elonroadは、舗装の上または中に設置されたレールを用いて車両を充電する電化道路ソリューションを開発した。またElonroadは、Bringと共同で2件のパイロットプロジェクトがスウェーデンとノルウェーで始動すると述べた。これには、Bringが用いる電化自動車用の定置充電ソリューションが含まれる。

ドイツ 2021年5月21日 Zeit オンライン版

■ ドイツは自動運転のパイオニアになる

Deutschland soll Vorreiter beim autonomen Fahren werden

連邦議会で自動運転の法的枠組みが通過した。早ければ来年にも、自動運転車が公道で走行する可能性がある。5月20日の夜遅くに連邦議会で可決された法律は、自動運転の車両とバスの使用を全国で促進することを目的としている。これは、いわゆるレベル4の自動運転車両が、来年から特定の区間の公道で通常の運転として走行できることを意味する。道路局は、シャトル接続や貨物輸送への自動運転技術の適用を想定しており、ドイツはドライバーが関与しない車両が、通常の運転として走行する最初の国になるであろうと述べている。

スペイン 2021年5月21日 Sacyr

■ サシル、フロリダ州（米国）で2つの新規建設契約を1億1000万ユーロで獲得

Sacyr gana dos nuevos contratos de construcción en Florida (EEUU) por 110 millones de euros

サシル・エンジニアリング&インフラストラクチャ社は、フロリダ州（米国）で総額1億1000万ユーロとなる2つの新しい契約を獲得した。オーランドの州道417号線5.9km区間の建設工事（6,500万ユーロ）と、サラソタ郡の州間高速道路75号線と州道72号線のインターチェンジの造り替え工事（4,500万ユーロ）である。

ドイツ 2021年5月26日 南ドイツ新聞オンライン版

■ マイクロプラスチック：電気自動車も粒子状物質を放散している

Mikroplastik : Feinstaub-Alarm auch bei Elektroautos

国際自然保護連合（IUCN）の研究によると、自然環境におけるマイクロプラスチックの主要発生源の1つがタイヤ片であり、海洋に漂うマイクロプラスチックの1/4がタイヤから発生しているという。ドイツ国内の推定値は研究によって異なるが、フラウンホーファー環境・安全・エネルギー技術研究所では、タイヤ片は年間で15万トンを超えると見積もっている。電気自動車はガソリン車よりも何百kgか重いため、タイヤ片も多い。タイヤ片が特に発生しやすいのは、ブレーキや加速が多くなる信号交差点（直線道路の3倍）。カーブではさらに多く7倍の量が観測された。

イタリア 2021年5月27日 ANAS

■ 持続可能なインフラとモビリティ省のアレッサンドロ・モレリ副大臣が、国道51号線（通称「ディ・アレマーニャ」）にあるANASのスマートロードを訪問

IL VICEMINISTRO DELLE INFRASTRUTTURE E DELLA MOBILITÀ SOSTENIBILI, ALESSANDRO MORELLI, VISITA LA SMART ROAD ANAS SULLA SS 51 "DI ALEMAGNA

モレリ副大臣は「この80kmにわたる最初のスマートロードは、試験中の全ての経験を伝えるため研究機関と民間の利害関係者の実験場になる可能性があります。私たちの目標は、2026年のオリンピックの機会に、この分野でもイタリアの技能を世界に紹介するため、その可能性を最大限に発揮するスマートロードを実現することです」と述べた。「渋滞と事故件数が約15%減少し、移動時間が約20%短縮されることが示されています」

スペイン 2021年5月27日 CincoDías オンライン版

■ 自動車専用道路と古い高速道路管理の公営化で、道路の新規工事予算が食いつぶされる

La gestión pública de autovías y antiguas autopistas se come a la obra nueva en carreteras

8月31日にAP7号線の通行料金徴収が終了することにより、運輸省（MITMA）が負担する運営費は1億ユーロ増加する。

運輸省が管理する交通容量の大きな道路総延長が増加し、新しい道路工事に利用可能なはずの予算が少しずつ圧迫されている。この状況は、アセサ社のコンセッション管理期間が間もなく終了することで、さらに悪化する。

ドイツ 2021年5月28日 ドイツ交通・デジタルインフラ省

■ 経済省と交通省、62件の水素大型プロジェクトを支援：「水素技術で世界1位を目指す」

BMWi und BMVI bringen 62 Wasserstoff-Großprojekte auf den Weg : "Wollen bei Wasserstofftechnologien Nummer 1 in der Welt werden

今週、連邦経済省と連邦交通省は、水素に関する欧州共通利益プロジェクト（IPCEI）の枠内で公的支援を受ける大型の水素プロジェクト62件を選出した。80億ユーロの支援金は、国と州が共同で出資する。交通省はモビリティ部門のプロジェクト12件を支援する。内容は、燃料電池システムや車両（乗用車からトラック、商用車まで）の開発と製造。さらに、国内外に供給する水素補給インフラの構築なども対象となる。

アメリカ 2021年5月28日 Pensacola News Journal

### ■ ペンサコーラ・ベイ・ブリッジが8カ月の閉鎖を経てついに開通

Pensacola Bay Bridge finally open after 8-month closure ; drivers can expect some delays

ペンサコーラとガルフ・ブリーズ間の主要幹線である橋は、9月のハリケーン・サリー通過の際、スカンスカ社の荷船が係留から外れ、橋梁に衝突して大きな損傷を受けた。1,000人近い原告が、スカンスカのハリケーン前の行動に過失があったとして訴訟を起こしている。

フランス 2021年5月31日 LeMonde

### ■ 汚染レベルの高い車両は、日中のパリ大都市圏周辺の通行が禁止に

Les véhicules les plus polluants ne pourront bientôt plus circuler en journée autour du Grand Paris

Crit'Air (大気質証明) レベル4以上のステッカーを貼った旧型のディーゼル車およびガソリン車は、6月1日以降、平日にはパリ大都市圏の低排出ゾーン (ZFE) を通行することができなくなる。具体的には、ディーゼル車で2005年12月31日以前に登録された車両、および1996年12月1日以前に登録されたガソリン車が対象となる。大型長距離トラック、バス、長距離バスについては、毎日8時~20時までがこの禁止措置の対象となる。

イタリア 2021年5月31日 Repubblica オンライン版

### ■ イタリア・アウトストラデー社をイタリア預託貸付公庫 (CDP) に手渡すことが、アトランティアの圧倒的多数の株主の賛成票により承認される

Autostrade passa alla Cdp, via libera a grandissima maggioranza dai soci di Atlantia

1999年の民営化後、高速道路の大半が、国庫が関係する機関 CDP の手に戻ることになる。34カ月にわたる紆余曲折の後に経営陣が CDP との間で達した合意は、高い投票率と、アトランティアの30.2%の株を所有するベネトン・ファミリーだけでなく、株主の87%という幅広い賛意を獲得できた事実が、健全であることを証明している。

スペイン 2021年5月31日 El Economista オンライン版

### ■ アベルティスがスペインで初めてパンデミック前の交通量を回復

Abertis recupera por primera vez el tráfico en España previo a la pandemia

非常事態宣言が解除された後の交通量は、2019年と比較してわずか0.5%の減少であった。

スペインで非常事態宣言が5月9日に解除されたことから、有料高速道路の通行量が急速に回復している。スペインで最大の道路運営会社であるアベルティスは、すでにパンデミック前と同様の交通量水準に戻っている。

アメリカ (オーストラリア) 2021年6月2日 Traffic Technology Today

### ■ 自動コーン敷設トラックが試験で良好な結果を示す

Automated cone-laying truck shows strong results in trial

昨年10月、オーストラリア Arrowes 社は、ACT と呼ばれるロードコーンを自動的に配置し回収する世界初の商用トラックを発表した。同社は、ビクトリア州政府とともに、環状80号の更新工事で6週間の試運転を実施したのち最近完了している。これにより、作業員が危険な道路交通に近づく必要がなくなり、重いコーンを持ち上げる動作の繰り返しによる長期的なけがや疲労のリスクを軽減する。